

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課
 担当課長名：新階 寛恭

事業名	さいのもとせつづきたせん 道祖本摂津北線		事業区分	街路事業	事業主体	大阪府
起終点	自：大阪府茨木市西豊川町 至：大阪府茨木市豊川4丁目			延長	0.4km	
事業概要	彩都（国際文化公園都市）と大阪市内とを大阪中央環状線を介して結節し、彩都の交通動脈としての機能を担う主要幹線道路である。					
H6年度事業化	S42年度都市計画決定 （H4年度変更）		H7年度用地着手		H13年度工事着手	
全体事業費	約28億円		事業進捗率	85%	供用済延長	0km
計画交通量	38,707台/日					
費用便益分析結果	B/C （事業全体）2.5 （残事業）	総費用：（残事業）/（事業全体） /30億円 （事業費：/30億円 維持管理費：/0億円）	総便益：（残事業）/（事業全体） /76億円 （走行時間短縮便益：/73億円 走行費用減少便益：/3億円 交通事故減少便益：/0億円）	基準年： 平成15年度		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 個性ある（拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する） 他のプロジェクトとの関係（関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり） 					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 彩都（国際文化公園都市）へのメインのアクセス道路であることから、まちびらきにあわせた整備が望まれている。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 混雑度は、減少傾向にあるが依然として混雑している。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 再々評価時点において、進捗状況は用地95%、工事15%となっている。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> 彩都（国際文化公園都市）の一部まちびらき（H16.3）にあわせて1車線を暫定供用。 引き続き工事を行い、H19春の彩都まちびらきに全線供用に向け、事業推進に努める。 					
施設の構造や工法の変更等	特になし					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 					
事業概要図						
計画交通量	38,707台/日					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。